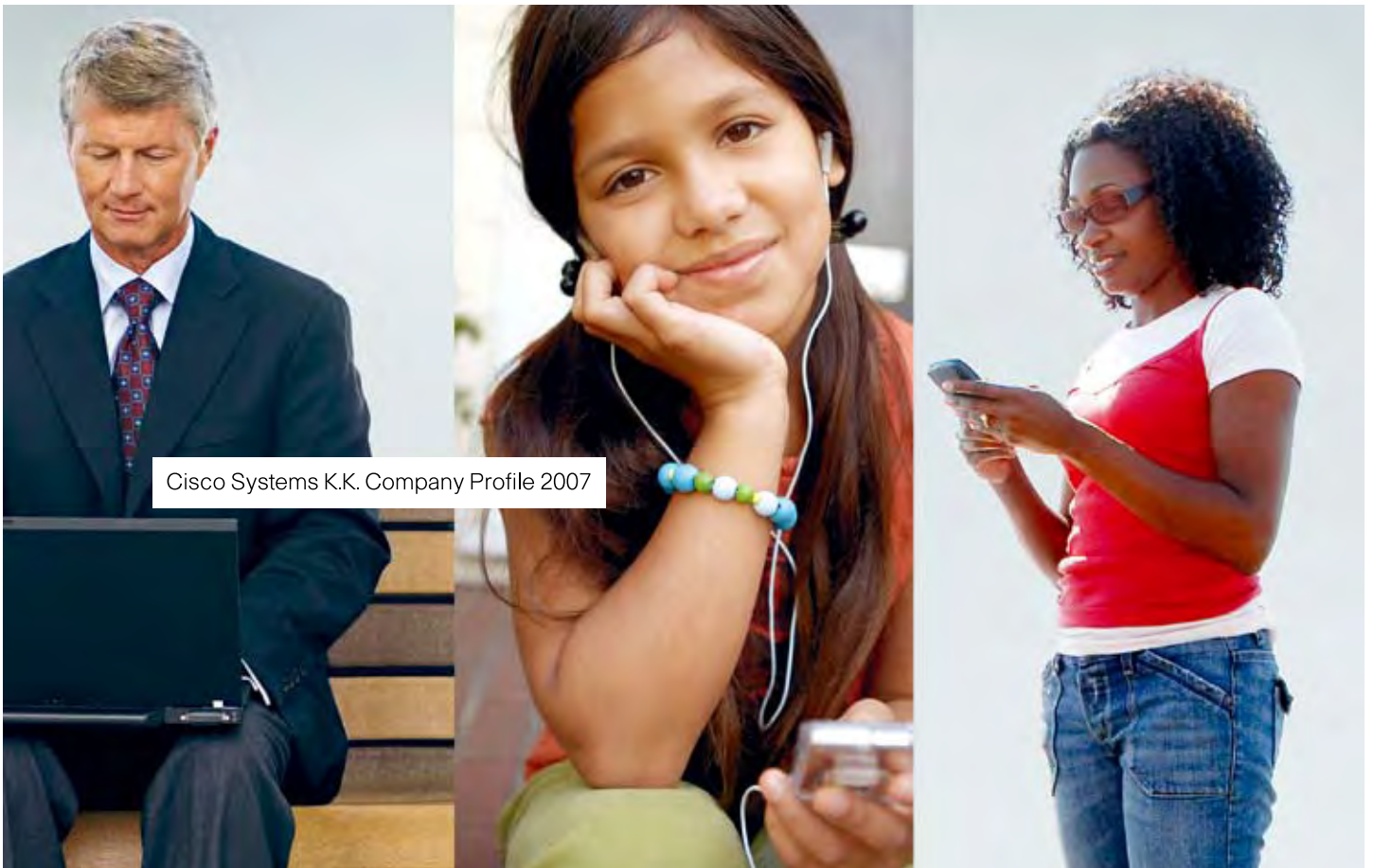




Welcome to the Human Network



Welcome to the Human Network

ヒューマンネットワークへようこそ



シスコの創業者たちが、プロトコルの異なるローカルエリアネットワークを相互に接続したことに端を発したインターネットは、地球規模の情報通信基盤となりました。世界中のコンピュータや電子デバイスは、ネットワークやインターネットを介してつながり、相互に情報をやりとりしながら、巨大なひとつのコミュニティを作り上げました。やがて、このコミュニティには、世界中の人々が集まってきました。人々は、電子メールを交換し、好きな音楽や映像をダウンロードし、ウェブサイトを作って自分が創作したコンテンツを公開しています。IP電話やテレビ会議も目覚ましい勢いで浸透しつつあります。遠隔医療や遠隔教育の恩恵を享受する人たちも増えています。かつては想像さえしなかった新しいライフスタイルが、ネットワークのもとでは、ごく日常的な生活体験になっているのです。



ネットワークは、人々の仕事・生活・遊び・教育の質とスタイルを大きく変えながら、人々の日常生活全般を支えるライフラインへと発展してきました。一方で、個々の人々は、自らの存在がネットワークを介して常に世界の人々とつながっていることに気づき始めました。この人々の新しいつながりは、新しい体験や発見をもたらし、生産的で効率のよい協同作業を生み出す一方で、人々に自らの存在意義を認識させています。今やネットワークは、単にマシンをつなぎ相互に情報を伝達する「架け橋」ではありません。人と人をつなぐ「ヒューマンネットワーク」へと進化したのです。それはまた、人々を新しい生活体験へと導く「ゲートウェイ」の役割を果たしています。シスコは、この新しいヒューマンネットワークの根幹を支えながら、人々に新しい生活体験をもたらすゲートウェイを提供し続けていきたいと考えています。

バスルームでモーツァルトを。

お帰りなさい。さあ、今日は何をして楽しみましょうか。携帯電話でオンラインゲームを楽しむ。PDAで株価をチェックする。シャワーを浴びながらワイヤレススピーカーでドン・ジョバンニを聴く。— 様々なネットワークデバイスのおかげで、私たちが家庭で得られる生活体験は、もはや暗く孤独なものではなくなり、エンドレスな奥行きをもって広がっています。無意識のうちに使いこなしているネットワークによって、私たちはもう、家庭にいながらにして、外の広い世界と、世界の見ず知らずの人々と、いつでもつながっているのです。快適なネットワーク接続をコーディネートし、この新しいヒューマンネットワークを支え、私たちにこのような新しい生活体験をもたらしているのは、シスコです。



もう教科書の情報は古くない。

先生はよく、教科書は印刷された瞬間に古くなると話してくれました。教育にもクオリティが求められている中で、陳腐な古い情報ばかりが載った印刷教材を使うことには、もはや意味がありません。少し進んだ学校では、ラップトップPCを教科書代わりに使っています。生徒は、随時書き換えられる教材をオンラインで使い、インターネットで最新資料を検索し、他のクラスや他の学校の生徒とも対話しています。もちろん、宿題にも発表にも、ラップトップPCを活用しています。こうした新しい教育体験を支えているのは、シスコです。

言葉よりも眉の動きが多くを語る。

Cisco TelePresenceは、あたかもテレポーティングを実現したかのようなシステムです。遠隔地にいる同僚・スタッフや、パートナー・取引先・お客様のリアルタイム映像が、目の前にあるスクリーンに、精緻に実物大で映し出されます。お互いの会話音声も、書類やプレゼンテーション資料も、遅れなくクリアに届けられます。飛行機にも新幹線にも乗らず、会社にながら簡単な手続で召集できるテレプレゼンス会議では、ちょっとした眉や肩の動きが、言葉よりも多くを語るでしょう。こうした効率よく生産性の高い新しいビジネス体験を支えているのは、シスコです。





コミュニケーションの手段に迷うまでもなく。

「今すぐ本人と直接話したい」。席にいるかどうか分からない相手と、どうやって連絡を取りましょうか。電話・Eメール・携帯電話・留守番電話 様々なコミュニケーション手段が考えられ迷うばかりです。音声・映像・データ・モバイルを統合したシスコ ユニファイド コミュニケーションなら、相手のプレゼンス（在席）を確認した上で、最適な連絡方法を選び、直ちに利用できます。連絡方法に迷ったり、面倒な操作に悩んだりする間もなく、その相手から「やあ、こんにちは」と返事が返ってくるでしょう。



救急箱のようなネットワーク。

あらゆるライフラインが途絶えた災害被災地。何よりも最優先で必要とされるのは、時間と距離の障壁を越えて、正確な情報を伝え合う手段を確保することです。シスコの対応は明快です。モバイル緊急キットによる即時通信回復です。このキットは、衛星通信をベースに、安全性の高いインターネット接続・無線LANホットスポット・ラジオ放送・映像配信などを一括して提供します。災害被災地という、既存の通信手段が利用できないかもしれない環境に、即効性のあるネットワークインフラを投入し、通信という最も有用なライフラインを確保して、ヒューマンネットワークを維持します。

私たちはみな
ネットワークでつながっている
シスコが支えるヒューマンネットワークでの日常

Lead the Experience

人々の新しい生活体験をリードする

人はひとりでいるよりも、誰かと一緒にいるほうが、大きな能力を発揮する。シスコはそう信じています。
シスコが地球規模で構築し支えているのは、マシンのネットワークではなく、人と人とのネットワーク、つまり「ヒューマンネットワーク」です。それは、人々を新しい生活体験へと導くゲートウェイであり、人々がより大きな能力を発揮するためのプラットフォームです。



Work



Live



Play



Learn

ネットワークの付加価値を高めるために、 シスコは新たな役割を担っていきます。

日本は世界有数のブロードバンドネットワーク普及国となり、携帯電話による音楽・画像配信サービスやアプリケーションの利用においても最先端を歩んでいます。消費者向け通信サービスは充実の一途をたどっており、日本のユーザーは主体的にコンテンツ創造や情報発信にかかわり始めています。これからはさらに独創的なスタイルでITを利用し、ネットワーク上でエンターテインメントを楽しみ、コミュニケーションの新しい形を創出していくでしょう。

企業においても、ERPやCRMをはじめとする基幹系のアプリケーションが導入され、通信事業者の高品質なサービスを利用した事業拠点間の情報連携、インターネットを通じた企業間取引などもかなり進んできました。しかしそれらを使う人と人とのやりとりは十分改善されておらず、今後は実際に業務フローを担う社員同士のコミュニケーションやコラボレーションを革新していくことが重要だと考えられます。

シスコは、インターネットの創成期から現在まで、ネットワーク環境の進化を支えてきた企業であり、これまで「ネットワーキングのリーダー」としてビジネスを進めてきました。しかし、今やネットワークは、単なる情報通信の手段ではなく、人と人を結ぶ「ヒューマンネットワーク」へと進化を遂げようとしています。これからのシスコの役割は、より多くのお客様に対して、ネットワークをプラットフォームとした「Life's Experiences (新しい生活体験)」を提供していくことにあります。新しい「ヒューマンネットワーク」のもとでのポジティブな体験を通じて、現実世界の人々の生活をよりよく変え、ネットワークの付加価値をより社会に広めていきたいと考えています。



シスコシステムズ株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者

黒澤 保樹



Advanced Solution

NGN (Next Generation Network) 次世代IPネットワークによる 新しい概念のコミュニケーションプラットフォーム

ネットワークインフラにはこれまで様々な変遷がありました。企業が利用するWANでは、かつて主役を務めた高価な専用回線サービスは役目を終えて、IP-VPNなどのサービスに主役の座を譲り、さらには、光ブロードバンド回線の普及によって、広域イーサネットやインターネットVPNなどの新しいサービスが台頭し始めています。家庭やスモールオフィスでも、xDSLは過渡期の補完的役割を果たし終え、光ファイバーによるブロードバンド常時接続が普通になりました。一方で、IP電話が一般にも普及し、音声や動画がIPネットワーク上で流れる今日でも、依然として利用されているのが、もう1つの巨大ネットワークである電話網です。そこで、両者の区別をなくし、電話網を次世代のIPネットワークに吸収する構想が、英国や日本などの大手通信事業者によって進められています。それがNGN構想です。データ・音声・映像・モバイルを、高レベルで統合するNGNのインパクトは大きく、これまでのネットワークの概念が大きく変わることになります。例えば、NGNでは位置情報やプレゼンス・認証・課金・帯域制御などの処理もネットワーク側に任せられるため、まったく新しい応用利用が考えられるようになります。シスコは、最先端のテクノロジー・製品・アーキテクチャによってNGNの構築を支援するとともに、NGN上で革新的なサービスやアプリケーションを実施できるようにするためにリーダーシップを発揮していきます。



Cisco CRS-1 Carrier Routing System

■極めて高い性能と可用性が求められるバックボーン

NGNには、電話網と同じクリティカルレベルを備え、常時100%稼働することが求められます。また、極度のアクセス集中や処理集中にも耐えられるスループットを実現しなくてはなりません。

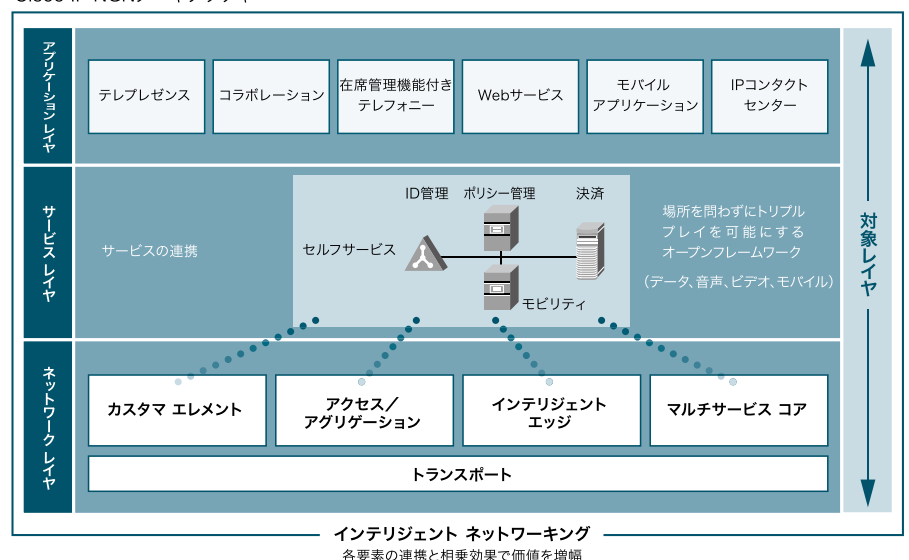
■サービスやアプリケーションを認識したルーティング

NGNは、高品質の音声通信や画像配信のインフラであると同時に、SOAのインフラでもあります。サービスやアプリケーションを認識したルーティングやオンデマンドのきめ細かいQoS管理が必要になります。

■通信事業者側で設定する運用・セキュリティ・アプリケーションサービス

通信事業者のネットワーク側でVPNを設定することにより、個人と法人を論理的に分離する、DOS攻撃をネットワーク側で遮断する、回線認証と個人認証の組み合わせによるセキュリティを提供する、などのサービスが行えるようになります。また、位置情報・プレゼンス・課金情報などを利用したサービスを通信事業者が提供することもできるようになります。

Cisco IP NGNアーキテクチャ





Cisco Unified IP Phone 7970



Cisco TelePresence 3000

Unified Communications

ビジネスアプリケーションとの連携により 人と組織の生産性を飛躍的に向上

電話・ファックス・Eメール・携帯電話・留守番電話 — 多くの企業では、社内外とのコミュニケーション効率を上げるために、様々な通信手段を用いるようになってきました。しかし、その多様化とともにコミュニケーションの仕方は複雑化し、却って情報過多や生産性低下などの課題を引き起こしています。

シスコ ユニファイド コミュニケーションでは、データ・音声・映像・モバイルを用いたすべてのコミュニケーションが共通のIPインフラストラクチャ上で行われ、ビジネスアプリケーションと連携したコミュニケーションを図ることができます。また、Cisco Unified Personal Communicatorなどのアプリケーションを利用することで、相手のプレゼンス（在席状況）をもとに最適な連絡方法をいつでも確認できますので、重要な意思決定者に連絡が取れないために業務が停滞するといった心配もありません。さらに、相手の等身大の精緻な映像とともに空間を共有するCisco TelePresenceをご利用頂くことにより、オフィスに居ながらにして、遠隔地にいるビジネスパートナーや顧客とひざを突き合わせたような感覚で打合せができますので、より深い意思疎通と信頼関係の向上を図ることができます。





Advanced Techn

Advanced Technologies

ネットワークの有効性・信頼性・ 安全性を高めるテクノロジー

ネットワークの役割が拡大し、ビジネスインフラ・生活インフラとしての重要性が高まるにつれ、安定した性能・高い運用効率・万全のセキュリティへの要求は高まっています。シスコは、ネットワークに関わる様々な世界標準の策定・整備活動において、リーダーの役割を果たしています。また、ネットワーク利用者の多岐多様にわたるご要望にお応えするため、様々な機能要件や技術仕様に対応した新しいテクノロジーの開発と既存テクノロジーの改良とを続けており、常に最先端にある機能・仕様を、製品・ソリューション・サービスに反映させています。



Cisco ASA5500シリーズ 適応型セキュリティ アプライアンス

自己防衛型ネットワークで企業や組織のネットワークを守る セキュリティ

社内外を問わず、セキュリティの脅威が多様化・複雑化しています。シスコの提唱する「自己防衛型ネットワーク」は、社内外のさまざまな脅威の検出と防御を行い、それらの脅威に適応することによって、企業のビジネスプロセスを保護しようとする長期的視野に立ったセキュリティ戦略です。自己防衛型ネットワークは、その実現のために様々なセキュリティソリューションを提供しています。

■統合化セキュリティ

ネットワークの安全を確保するには、様々なセキュリティ製品を導入し個別に機能させるのが常套策でした。シスコでは、ルーター・スイッチ・ワイヤレスLANをはじめとするネットワーク機器や、ユニファイドコミュニケーション自体にもセキュリティ機能を搭載することで、統合的なセキュリティシステムを確立し、ネットワークを様々な脅威から保護しています。

■コラボレーションセキュリティ

シスコは、パートナーとのコラボレーションによって、既設のネットワーク機器を使用するままに、ネットワークに接続される端末のセキュリティレベルを一定水準で確保するためのソリューションを提供しています。ポリシーに準拠していない端末の隔離と免疫作業を実行し、ネットワークの隅々の端末に至るまで徹底してポリシーに準拠させることができます。

■適応型防御セキュリティ

シスコは、アプリケーションレベルでのアクセス制御やWebアプリケーション管理などを行う「アプリケーションセキュリティ」、様々な脅威からネットワークを保護する「Anti-X防御」、そしてネットワークのインテリジェンスと仮想化されたセキュリティ技術とを統合して効率的な運用管理を実現する「ネットワークでの制御および抑制」からなる、ダイナミックな防御ソリューションを提供しています。

ATD (Adaptive Threat Defense)



ologies and Products



Cisco Aironet アクセスポイント ファミリー

有線LANと同等レベルの堅牢なセキュリティを実現する

ワイヤレス/モビリティ ソリューション

今日のビジネス環境では、いつでも、どこでもネットワークに接続可能であることが求められます。シスコのワイヤレス/モビリティ ソリューションは、どのクライアントデバイスからでも、どこからでも企業のネットワークリソースやアプリケーションにセキュアにアクセスできる環境を提供します。ワイヤレスならではの柔軟性・機動性に加えて、有線LANと同等レベルの堅牢なワイヤレスLANセキュリティサービスを提供します。ネットワークインフラの健全性を保持するNAC（ネットワークアドミッションコントロール）による「自己防衛型ネットワーク」と組み合わせれば、安全性はさらに高まります。



Cisco MDS 9000ファミリー

増え続ける情報資産を効率よく管理・活用する

ストレージネットワーキング

シスコのストレージネットワーキングは、ファブリックネットワークによって高速かつ信頼性の高いストレージ接続を実現し、IPを上位プロトコルに採用することで、アクセスの柔軟性を向上し、ストレージの集中管理を容易にしています。大量データの有効活用を図り、ストレージコストを抑制し、ビジネスの継続性を向上できます。



無線LANコンパクトルータ

生活の快適さを高めるための

ホームネットワーキング

もはやインターネットを家庭で利用することは普通のことになり、ネットワークを利用して得られる生活体験は、私たちの日常生活の一部となっています。ネットワークやインターネットをさらに便利に活用するため、有線・無線LANを敷設する家庭も急激に増えてきています。シスコ・リンクシスは、家庭でもネットワークのメリットを存分に享受して頂けるよう、ブロードバンドルータや無線アクセスポイントをはじめ、無線アダプタなど、個人・家庭やSOHOを対象にした製品を幅広くラインアップしています。

全ての企業を次のステージへと導く ネットワークソリューション

ワークスタイル・ライフスタイルを変え業務の最適化と生産性向上を実現

販売管理・顧客管理・生産管理など、重要なアプリケーションを従業員が安全・快適に利用できる環境。チームメンバーが時間と場所を超えてコラボレートできる環境。優れた設計のネットワークは、業務環境を大きく改善し、そうした理想的業務環境を演出します。従業員のワークスタイルが変われば、ワークフローのボトルネックや問題を解消できるに留まらず、新しい顧客サービスを導入したり、マーケットをさらに深く掘り起こすような能動的ビジネス戦略を実施したりできるようにもなります。セキュリティや運用コストにも留意しながらネットワーク技術の導入を進めることや、フリーアドレスや在宅勤務のように、ワークスタイル・ライフスタイルを広げて従業員のモチベーションを高めるようなネットワークの活用を進めることも、業務の最適化と生産性向上には効果的です。シスコは、中堅・中小企業に手軽にご利用頂ける製品やアプリケーションを幅広く取りそろえ、最新コンセプトに基づくソリューションをそれぞれのビジネスニーズに合わせて戦略的にご活用頂ける体制を整えています。



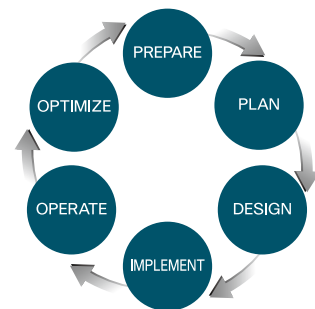


Services & Support

シスコでは、お客様にネットワークの先進技術を有効活用して頂けるよう、コンサルティングやノウハウの提供をはじめ、ネットワーク活用のライフサイクル全般をカバーする様々なサービスを提供しています。

ライフサイクルサービス

シスコライフサイクルサービスは、新しい製品とテクノロジーの導入を実現するためのアプローチです。準備 (Prepare) ・計画 (Plan) ・設計 (Design) ・導入 (Implement) ・運用 (Operate) ・最適化 (Optimize) の6つのフェーズで定義され、ネットワークの構築または新しいソリューションの追加に必要な準備に始まり、ソリューション導入後、その能力が100%発揮されることを目的としています。シスコでは、ライフサイクルサービスの考え方に基づき、様々な技術ソリューションを実現するためのサービスを豊富にご用意しています。



アドバンストサービス

アドバンストサービスは、ネットワークの計画から最適化まで、シスコライフサイクルに沿ったトータルサポートを提供するサービスです。ネットワークのパフォーマンスを最大限に高めるコンサルテーションと、クリティカルな障害への迅速かつ正確な対応により、お客様ネットワークにおいて高いアベイラビリティを実現します。アドバンストサービスには、大きく分けて、メニューベースで技術支援を提供するFixed Servicesと、お客様案件ごとにアウトプットの範囲が定義されるScoped Service (旧ASプロフェッショナルサービス) があります。

テクニカルアシスタンスセンター (TAC)

シスコでは、日本国内にテクニカルアシスタンスセンター (TAC) を設置し、製品の導入・運用・メンテナンスに役立つ技術情報・サポート情報を、日本語で提供しています。TACは、日本国内のお客様が、24時間いつでも必要な情報にアクセスし、問題を回避・解決できるよう、常に提供情報のクオリティの向上とスピードアップを図っています。



Network Solution Competency Center

ネットワークソリューション コンペテンシー センター (NSC2)

ネットワークソリューション コンペテンシー センター (NSC2) は、シスコの最新機器や最新テクノロジーを導入する高度なネットワークシステムの事前検証や、デザインコンフィグレーションのレビュー、ネットワーク評価テストなどを実施する、実地検証サポートセンターです。ネットワーク構築作業の上流から下流までを対象とし、ネットワークの信頼性やQoSの保証、音声やマルチメディアの統合、セキュリティ、ネットワーク管理などの課題を解決するための技術的支援を、一貫したシームレスなサービスとして提供しています。



品質センター

品質センター

シスコでは、成田空港至近に品質センターを設け、製品を日本国内のお客様にお届けする前に、厳密な最終検査を行っています。米国で製造され検査を受けてきた製品は、成田空港に到着すると、この品質センターに持ち込まれ、充実した検査態勢と厳しい品質基準の下で、外観検査・基本性能試験・負荷試験などの最終品質検査を受けています。また、品質センターに蓄積される検査データは、シスコの製品開発・設計・生産拠点にフィードバックされており、グローバルレベルでの品質改善にも利用されています。



品質センター (製品検査)

シスコ技術者認定

インターネット技術者に要求される知識・技能を、到達レベル毎に認定するプログラムです。常に変化するネットワーク環境を安全に構築・管理できる人材を、世界中の企業が育成・確保できるよう支援しています。

シスコ チャネル パートナー プログラム

シスコの製品・サービスを販売・提供するパートナーを認定するプログラムです。サポート体制、シスコ技術者認定資格者、テクノロジー分野の専門性、顧客満足度などの観点から、パートナーをゴールド・シルバー・プレミアの3レベルに区分して認定しています。また、特定のテクノロジーやソリューションを専門に販売・提供するパートナーは、別途「Specializationプログラム」によって認定しています。



Corporate Citizenship & Social Responsibility

シスコは、世界の人々をつなぐヒューマンネットワークを支え、人々を新しい生活体験に導くゲートウェイを提供する企業として、社会に信頼される「良き企業市民」となるために、様々な形で社会貢献を行い、その社会的責任を果たしています。

高度人材アカデミーの活動を支援

高度人材アカデミー (AIP) は、福岡県が推進する「福岡IT戦略」の中核事業として、「最高位のIT人材を戦略的に育成し、その人材や知の集約をもとに、IT活用的高度化と地域の活性化を促進する」ことを使命として、2003年1月に設立され、主に人材育成のための教育講座を提供しています。「最高位のIT人材の育成」とは、単に技術知識のある人材を育成することを指すのではなく、ITを用いてビジネスプロセスを改善し、企業・自治体や団体・組織などの価値を高めるスキルを、実践的・経験的に身に付けた人材を輩出することを意味します。AIPの趣旨に賛同したシスコは、テクノロジーとノウハウの両面から積極的なサポートを行っています。

シスコ・ネットワーキングアカデミー

シスコ・ネットワーキングアカデミープログラム (NetAcad) は、世界各地の学校で学ぶ学生・生徒たちに、グローバルな経済活動に不可欠なインターネットテクノロジーに関する技能教育を提供する、総合的eラーニング・プログラムです。1997年10月、米国内の7州・64教育機関で開始されたNetAcadは、現在では160ヶ国以上に拡大。1万校以上のアカデミー校で、これまでに160万を越す学生が学習しました。日本でも1998年から開始され、現在180校を越す学校で開講されています。シスコは学校教育を通じたインターネット技術者養成を強力に支援しています。

アクセシビリティ

シスコは、製品・サービス・Webサイト・文書などを、あらゆる人々にとって使いやすいものに改良していく予定です。2003年に設立した「シスコ アクセシビリティ イニシアチブ」を通じてアクセシビリティへの全社的な取り組みを強化しており、2006年にはアメリカ盲人協会 (AFB) から、荣誉ある「ヘレンケラー実践賞」を受賞しました。

インパクトフィランソロピー

シスコのインパクトフィランソロピーは、個々人が有意義な人生を生き、学ぶ機会を与えられ、他の人を助ける機会があるような理想的社会を目指すことにあります。シスコでは、そのために、目覚ましい仕事をしている非営利活動団体・組織を見つけ出し、その運営ポリシーや戦略を革新的テクノロジーによって具体化・統合化させることによって、その潜在能力を長期的に拡大し続けるための支援を行っています。

環境経営

環境の世紀となった21世紀では、企業経営にも環境問題対策の視点が不可欠です。シスコは、省資源、省エネルギー、EUのRoHS (有害物質の使用規制) への対応、ISO14001認証取得など、ワールドワイドレベルでの環境経営に取り組んでいます。

ダイバーシティ

シスコでは、ビジネスには常に異なる視点・異なる感性・異なる思考が必須だと考えています。そのためには、従業員の「多様性と一体化」が、むしろ必然のビジネステーマとなっており、世界各国・各地の異なる文化環境に属している人材を積極的に雇用しています。また、「ビジネスの成功には、パートナー・サプライヤー・お客様・従業員・地域社会の相互連携が極めて重要だ」という考えを基盤に据えて、あらゆる業務を行っています。

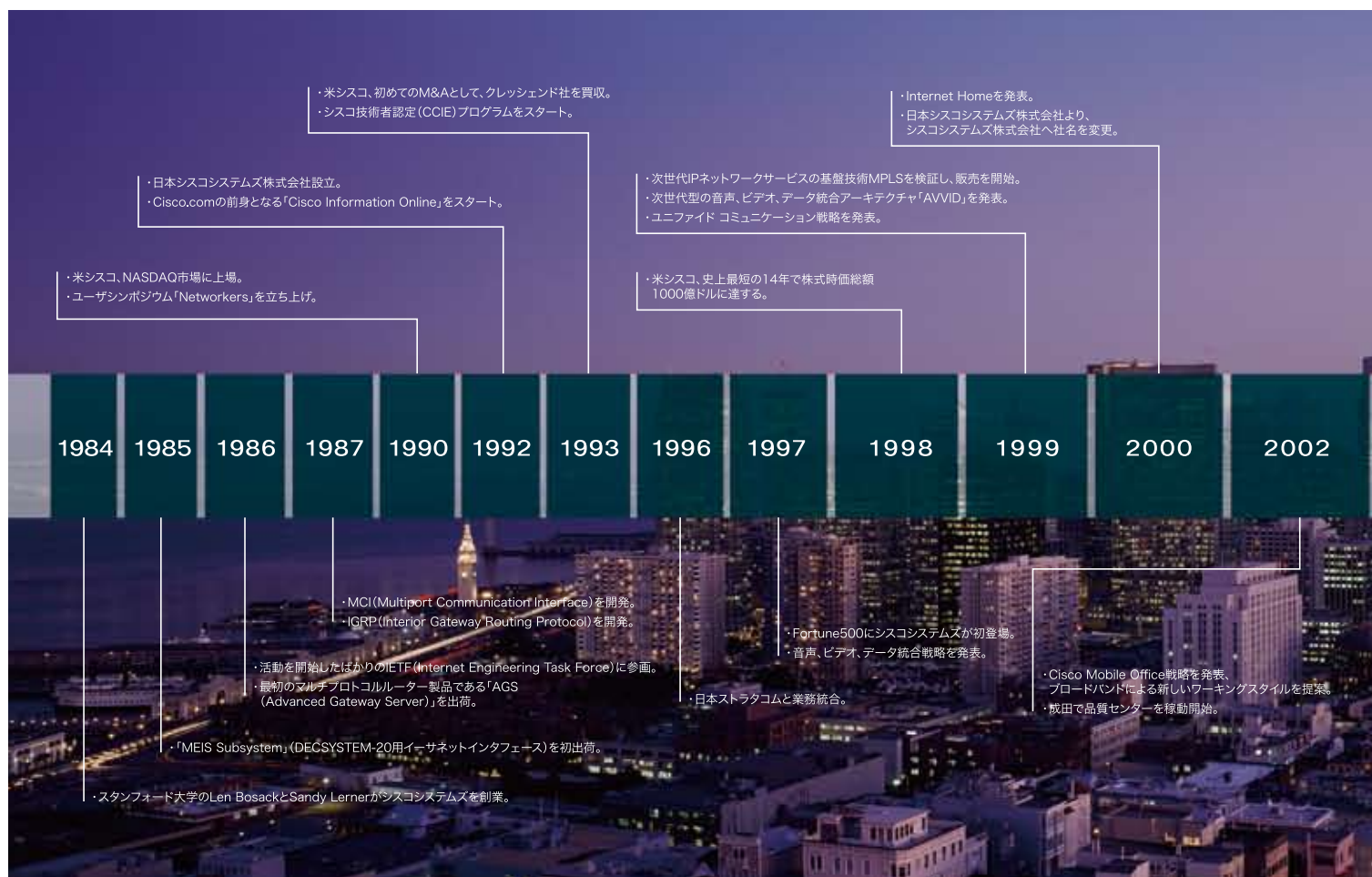
高品質経営

シスコでは、創業以来「お客様の成功を第一に考える」ことをモットーにしています。お客様に最大限の価値を提供するため、お客様のニーズを正確に把握した上で、それに応える手法をビジネスプラクティスとしてまとめ、品質改善ツールや品質改善プロセスに組み入れています。シスコは、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格BS7799/ISMS認証や、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2000認証を取得しており、さらには、お客様の期待と実際の製品やサービスとの間にあるギャップを正しく認識するため、お客様からのフィードバックを集めて、製品やサービスの改善、お客様が望む分野への投資シフトや企業経営の高品質化にも役立っています。



ISO 9001
REGISTERED

Company Profile



会社概要

(2006年12月14日現在)

社 名	シスコシステムズ株式会社 (英文表記 Cisco Systems K.K.)
設 立	平成4年 (1992年) 5月22日
資 本 金	4億5,000万円

所在地

東京本社	〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館
新宿オフィス	〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル私書箱303号
札幌オフィス	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-1-2 大和りそなビル5F
仙台オフィス	〒980-6126 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER (アエル) 26F
大宮オフィス	〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-75 大宮フコク生命ビル2F
金沢オフィス	〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル3F
名古屋オフィス	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル
大阪オフィス	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪MTビル2号館
広島オフィス	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビルディング5F
福岡オフィス	〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町5-35 福岡祇園第一生命ビル12F
沖縄オフィス	〒900-0033 沖縄県那覇市久米2-4-16 三井生命那覇ビル7階



2006 Topics

- ・最新のキャリアイーサネットポートフォリオで、IP NGNのリーダーシップを強化。
- ・米シスコ、Scientific-Atlanta社の買収を完了。
- ・業務のプロセスを合理化し、生産性を向上させる、最新のユニファイドコミュニケーション システムを発表
- ・米シスコ、SyPixx Networks社を買収。
- ・富士通と米シスコ、戦略提携に基づき、次世代ハイエンドルータ「Fujitsu and Cisco XR12400シリーズ」を販売開始。
- ・米シスコ、Metreos社とAudium社を買収。
- ・米シスコ、会長交代を決定、ジョン チェンバースがCEOと会長職を兼務。
- ・米シスコ、Meetinghouse社を買収。
- ・米シスコ、Arroyo Video Solutions社を買収。
- ・40Gbpsスロット ルーティング システムとしては世界最小となるCisco CRS-1の4スロットモデルを発表。
- ・富士通と米シスコ、戦略提携に基づき、次世代ハイエンドルータ「Fujitsu and Cisco CRS-1」の4スロットモデルを販売開始。
- ・シスコ、コーポレートロゴ、ブランドネームの変更を発表。
- ・コミュニケーションとコラボレーションで新しいエクスペリエンスを提供する「Cisco TelePresence」を発表。
- ・米シスコ、Orative社を買収。
- ・米シスコ、Greenfield Networks社を買収。

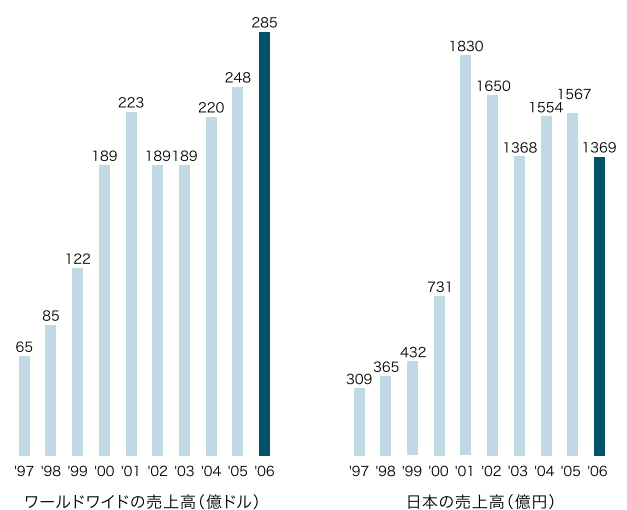
役 員

代表取締役社長 最高経営責任者	黒澤 保樹
取締役 常務執行役員	青葉 雅和
取締役 常務執行役員	堤 浩幸
取締役 常務執行役員	吉野 孝行
取締役（非常勤）	リチャード・ジャスティス
取締役（非常勤）	フランク・カルデロニ
取締役（非常勤）	エバン・スロブス
監査役	プラット・バット
副社長執行役員	ロン・セズィンスキー
常務執行役員	アレックス・サーバー
執行役員	川口 貴久
執行役員	木下 剛
執行役員	篠浦 文彦
執行役員	富田 泰正
執行役員	ムーン・ジェイ・リー
執行役員 チーフテクノロジーオフィサー	大和 敏彦

株 主

米国シスコシステムズインク（100％）

売上高の推移



ワールドワイドの売上高は、米国連結決算に基づいており、日本の会計期間をもとにした売上高とは異なります。また、日本の売上高は、日本の商法に基づいており、百万ドル以下の端数は切り捨てとなっています。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp> お問い合わせURL:<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館 03-5549-6500 (代)

0191-0612-05A-T